

## 市民福祉講座 1

### 「あなたの終末期 どこで、どう暮らしますか？」

2014年1月25日下関市社会福祉センター

～在宅看護について～

講師 廣瀬 春美

(訪問看護サービス・

フリーナースネットケア代表取締役

山口県訪問看護ステーション協議会会長)

#### 1 貴方は考えたことがありますか？自分のいのちの「最期」の瞬間（とき）を…

- ・覚悟し、後始末をして最期を迎えたいと考えている方は多いが、なかなか思い通りにはいかない。
- ・病気が及ぼす影響や身体的変化が及ぼすさまざまな影響が、今後の人生に大きく影響し、従来までしていた生活ができなくなる。



#### 2 終末期とは

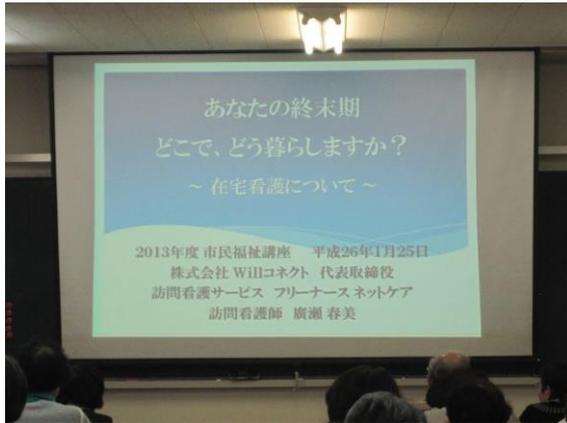
- ・老衰、病気、障害の影響や進行により、死に至ることが回避できない状態で、余命が3か月～数か月以内程度である。(明確な予測は困難)
- ・終末期は、他者が決める場合と自分が決める場合がある。他者が決める場合は、客観的結果と現実が先行し、当事者の思いとギャップが生じる。自分が決める場合は、自らが予測し、用意して行動することができる。
- ・「終末期」を「前向き」に考えることは重要で、『死』を考えるということは、『生』を考えることであり、「終末期」について考えることは、余生の『生き方』を決めることに繋がる。

#### 3 在宅療養を支える在宅（訪問）看護とは

- ・家で自分らしく生きたいという願いを叶えるための訪問看護である。
  - \*在宅希望…両親が介護が必要となった場合（80%） ・自分が介護が必要になった場合（74%）
- ・訪問看護とは、疾病や負傷等により継続して療養状態にある人に対し、主治医の指示を受けて居宅を訪問し、看護師等が行う療養上のケアや診療の補助をいう。
- ・《訪問看護ステーション》を拠点にして、保健師・助産師・看護師・准看護師が訪問するが、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が訪問看護としてリハビリテーションを行うこともある。  
(《診療所・病院の訪問看護》は看護師・准看護師のみ)

#### 4 訪問看護のサービス内容と特性

- ・《本人へ》療養生活の相談や支援、病状や健康状態の観察、医師や他の職種との連携、医療処置・治療上のケア、苦痛の緩和への療養支援、リハビリテーションと指導、精神的支援など。
- ・《家族へ》家族への療養相談と支援、療養環境のアドバイスと助言、地域の社会資源の活用と調整、認知症・精神障害者への支援、ターミナルケア、退院、退所から在宅への移行支援など。
- ・サービスには、食事サービス、家事援助サービス、生活支援サービス、介護サービス、健康管理サービスなどがあるが、その中の「健康管理サービス」を担当する。



## 5 誰がサービスを受けられるの？

- ・年齢、性別、疾患、国籍を問わず誰でも利用することが可能である。
- ・介護保険のみでなく、健康保険などでもサービス利用ができる場合がある。
- ・訪問看護サービスは、利用者や家族、周囲の人の療養生活の心配・不安を軽くするだけでなく、病状の悪化を防ぎ、「愛」を持って、生きる意欲の維持・向上に努めることを旨とする。